

憧れのプレミアム純正オイルの魅力

スバル純正のプレミアムエンジンオイルである「レ・プレイアード・ゼロ 0W30」。一度味わうとやめられない、10年以上愛用し続けているというファンの声も多く聞こえるエンジンオイル。しかもそれが専門店ではなく、ディーラーで交換ができるという身近な存在というのもポイントだ。水平対向エンジンのベストバランスオイルとして開発された、憧れのプレミアム純正オイルの魅力をクローズアップ。

SUBARUプレミアム純正オイル
レ・プレイアード・ゼロ 0W30

LES PLÉIADES ZERO 0W30

■100%化学合成油 ■SAE粘度 0W-30 ■ACEA規格 A3/B3、A5/B5
<http://www.pleiades-zero.com>

スペシャルサイトも
要チェック!



【ACEA規格】

ACEA(アセア)とは欧州自動車工業会の略で、欧州の自動車メーカー、石油メーカー、消費者の団体により組織されている。その規格は、API規格とは異なる厳しい試験項目があり、耐久性能を重視する一方、省燃費性能や排ガス中の有害物質削減など環境性能も高いレベルでクリアすることが要求されている。レ・プレイアード・ゼロ0W30は、耐久性能と省燃費性能を両立させるA5/B5を取得。

【PLEIADESの意味】

フランス語で「プレイアード」、英語読みだと「プレデアス」。天文的なところでは、日本語だと「すばる星」、英語だと「プレデラス星団」。ちなみに「LES」もフランス語で英語で言う「The」的な使い方をされる。雰囲気的な直訳すると「ザ・スバル」的なネーミングがこのオイルには付けられている。

レ・プレイアードゼロと一般的なオイルの違い

エンジンオイルの種類は大きくわけて3種類。鉱物油、部分合成油、化学合成油。これらはエンジンオイルのベースオイルの種類であり、ここに各種添加剤を入れることでエンジンオイルとなる。

鉱物油は原材料となる原油を蒸留して精製されているもので、昔からエンジンオイルに使われている。価格は安いですが、ベースオイル中の不純物が多めなのでエンジンオイルとしての性能は劣る。また使われる添加剤のスペックが低いものも多く、オイルの性能が劣る要因。

一方、化学合成油のエンジンオイルは、ベースオイルに含まれる不純物を極力取り除き、エンジンオイルの性能を高める添加剤がしっかりと使われている。部分合成油は、鉱物油を主としそこに化学合成ベースオイルをブレンドすることで、コストをおさえて性能を高めたものとなっている。

レ・プレイアード・ゼロは100%化学合成油というオイルで、より品質の高いPAO(ポリアルファオレフィン)をベースオイルとしている。PAOは前述のベースオイルのように原油の精製プロセスから製造されるのではなく、化学工場で作られる不純物が一切含まない合成油で、低温での流動性が極めて高く、熱や酸化、せん断に対する安定性が優れており、省燃費性能や耐久性の高い理想的なエンジンオイルを実現。さら

寒い時期にもピッタリ



エンジン保護を重視した硬めのエンジンオイルだと、気温が低い冬場には始動性が悪くなったり、オイルが温まるまでの硬い状態で走行では燃費の悪化の要因になることも。レ・プレイアード・ゼロ0W30はPAOベース100%化学合成油のため、低温での流動性が特に優れており(流動点は-57.5℃)、寒冷地での使用にも適している。

にテストを重ねて、スバルのボクサーエンジン用への最適化をはかっている。

ベースオイルの基礎体力自体がPAOにより高く、さらには各性能を高めるための添加剤がしっかりと加えられているレ・プレイアード・ゼロ。こころへんも、一般的に高性能と言われる市販オイルとの違いとなっている。

いくつか例をあげると、汚れの蓄積をおさえる「清浄分散剤」、保護膜で摩擦を低減する「摩擦低減剤」などの添加剤がしっかりと配合され高品質を実現。こういった部分は、冬場のエンジン始動性、燃費、オイル劣化の低減、パーツ保護、エンジン性能向上などに大きく関わってくる。

これらの開発をトタルエナジーズが担当し、SUBARU技術本部が評価・認証をおこなった。厳しい225時間のエンジンベンチ試験もクリアしたボクサーエンジン用エンジンオイルの最適解が、このレ・プレイアード・ゼロなのだ。

レ・プレイアード・ゼロ0W30を初体験

選んだ理由を 聞いてみた!!

■レガシーツーリングワゴン(BH)

■OWNER: yohe.さん

愛車のコンディションを整えるため
プレミアム純正オイルをチョイス!

2021年11月に開催された「富士スバルカスタマイズフェア」にて「レ・プレイアード・ゼロ0W30」を初体験するBHレガシイのオーナーさんを発見。選

んだ理由などを聞いてみた。
ラリーとかで走ったりもするし、自分でオイル交換もするという、クルマを良く知るyohe.さん。これまでもレ・

硬めの粘度を好む人もぜひ検討を!

スバルディーラーで交換できるレ・プレイアード・ゼロには数年前まで少しハード目の人に好まれる粘度の数値が硬めの10W50というオイルも存在していた。現在は0W30のみのラインアップだがこれにはきちんと理由がある。しっかりとEJ20などの高出力ターボエンジンにも対応できるスペックとなっているからだ。高温時の油膜特性もHTHS粘度が0W30で3.5。他社の5W40が約3.75とほぼ同等の油膜となっている。また一般的な0W20や0W30のHTHS粘度は2.6~2.9が一般的な数値。このことから、レ・プレイアード・ゼロ0W30が幅広いスバル車に対応していることが証明されている。粘度の数値以上のパフォーマンスを持っているエンジンオイルなのだ。

プレイアード・ゼロ0W30の性能の高さはそのデータなどから見ても気になる存在だったが、ちょっと値段が高かったことが理由で見送っていた。しかし、この日のイベントのキャンペーン価格がかなりお得だったので「いまだしよ!」と、初投入を決意。
「知り合いに話を聞いても、データをもて高性能なのはわかっていたので。今回のお得な価格もそうですが、いまこの寒い時期というのもあって、エンジンの始動性が良くなったという部分にも期待しています。EJ20だから、高温時の油膜とかも0W30という粘度の表記が気になっていました。一般的には固めのオイルを選ぶことが多いと思うのですが、データをみると高温時も油膜が40番と同等に厚いということなので、それも決め手のひとつですね。冬場の性能と高温時のバランスがとても良いと思っていますので、これから乗ってみて体感できるのを楽しみにしています」と。
レ・プレイアード・ゼロ0W30は、クルマのことを良く知るyohe.さんが、その性能の高さを理解した上で使ってみたいと思う、プレミアム純正オイルなのだ。

クルマを良く知るオーナーが
チャンスを逃さず投入



富士スバル太田店

■住所・群馬県太田市飯塚町1620-1
■電話・0276-45-3986
■HP・<https://www.fujisubaru.co.jp>

SUBARUのお膝元であり、スバルファンの聖地のひとつとも言える富士スバル太田店。車両販売はもちろん、オイル交換などのメンテナンスからカスタムまで、スバル車のことならなんでもお任せ。

